

研究主題 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫」～見方・考え方を働かせた授業づくりと協働的な学びを通して～

単元を貫く問い どんな状況で、どんな情報が必要だろう？～場面に応じて必要な情報を読み取ろう！～

この単元に関連した内容や領域の付いている力(◆「読む」「話す」と内容(・))

- ◆【第5学年】【第6学年】
- ◆自分の周りの友達や憧れの人を紹介する力。
- ◆身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットから自分が必要とする情報を得る力。
- 【第1学年】
- ◆身近な人やものについて紹介したり尋ねたりする力。
- ・Unit2 Our New English Teacher
- ◆身近な人や好きな〇〇について、スピーチする力。
- ・Unit6 A Speech about My Brother

本単元の目標

(学習指導要領) 読むこと  
 ア 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。  
 (CAN-DO リスト) 読むこと①  
 日常的话题について、簡単な語句や表現を用いて書かれたまとまりのある文やパンフレット等から必要な情報を読み取ることができる。

【単元目標】  
 司会者として決められた時間の中でゲストを紹介するために、ゲストの職業や功績、人物像などについて書かれた英文から、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取ることができる。

学びに向かう力、人間性等

決められた時間の中でゲストを紹介するために、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取ろうとする。

単元終了時の目指す生徒の姿

- ・人称代名詞の目的格、疑問詞(whose, which)の意味や文の構造を理解している。ゲストについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。
- ・決められた時間の中でゲストを紹介するために、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取っている。
- ・決められた時間の中でゲストを紹介するために、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取ろうとしている。

思考力・判断力・表現力等

決められた時間の中でゲストを紹介するために、ゲストについて書かれた文章の中から聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取る。

知識及び技能

人称代名詞の目的格、疑問詞(whose, which)の意味や文の構造を理解するとともに、ゲストについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付ける。

この単元からつながっている領域の力(◆)と内容(・)

- 【第2学年】
- ◆ユニバーサルデザインに関する文を読んで必要な情報を読み取り、自分の意見や考えを発表する力。
- ・Unit5 Universal Design
- ◆伝えるべき内容に合わせて必要な情報を読み取り、読み取った必要な情報を引用して伝える力。
- ・Unit6 Research Your Topic
- 【第3学年】
- ◆偉人や著名な文化人に関する英文を読んで必要な情報を読み取る力。
- ・Unit5 A Legacy for Peace
- ・Let's read A Graduation Gift from Steve Jobs
- 【高等学校 英語コミュニケーションI】
- ◆必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる力

生徒の実態と指導観

本学級の生徒は明るく活発な生徒が多く、小学校で習った表現を使いながらペア活動では自分の伝えたいことを何とかして伝えようという積極的な姿が見られる。また、ペアや班で教え合ったりするなどして協力して学ぶこともできている。1学期の「話すこと」のパフォーマンステスト(自己紹介、インタビュー)では、A・B評定の生徒が100%であった。しかし、まとまりのある文章を読むことには慣れておらず、慣れ親しんだ単語、イラストや写真などから内容を予測するため正確に内容を読み取ることは十分ではない。また、第三者に関する他者紹介(スピーチ)ではA・B評定の生徒が99%であった。しかし、まだきちんとした三単元のSの定着はできておらず、主語が変わったり否定文が変わったりするとエラーが見られた。

本単元の単元ゴールは、日本で活躍する外国人や海外で活躍する日本人に関する英文を読む活動を通して、必要な情報を読み取る力を身に付けることである。単元を通して、ある人物の紹介文等を読んで自分や聞き手にとって必要な情報は何かを考えながら情報を読み取り、読み取った情報を整理してまとめ、ペアで伝え合う活動を繰り返し行う。様々な形式の英文を読ませたり、少しずつ読む量を増やしたり、伝える時間を調整したり、どんな人が聞くのかなどの状況を変えたりしながら見方・考え方が働くように工夫する。併せて、本単元では「読むこと」に焦点を置いて指導するが、ゲスト等を紹介する際には、Unit 6 までに身に付けてきた他者紹介の力も発揮できるようにする。

言語活動

読むこと 決められた時間の中でゲストを紹介するために、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取る。

読むこと 紹介する人を詳しく伝えるために、必要な情報を読み取る。

読むこと 自分や聞き手のニーズに沿った必要な情報を読み取る。

◆聞き手の状況に合わせて、紹介文などから必要な情報を読み取り、伝える内容を整理し、決められた時間の中で紹介する活動。

〈第7時〉(本時)【紹介文+インタビュー記事+グラフなどのデータ】

・オーディション番組の司会者としてゲストに関する複数の英文や資料を読んで、聞き手の状況をもとにゲストについての必要な情報を読み取り、伝える内容を整理し、決められた時間の中で紹介する活動。

〈第6時〉【2人の人物についての英文を比較しながら読む】

・架空の四万十市長選の推薦者や司会者をするという状況で立場に応じて伝えるべき内容について判断し、紹介文から必要な情報を読み取り、紹介し合う活動。  
 (架空の四万十市長選に立候補した異なる考えを持つ2人の紹介文) ※45秒で紹介するために読み取る。

〈第5時〉【アンケートフォーム+表】

・スポーツ番組の司会者として設定された時間の中でその人物がなぜ有名なのか聞き手が分かるように紹介するために、必要な情報を読み取る活動。  
 (日本で活躍する外国人スポーツ選手についての紹介文) ※60秒で紹介するために読み取る。

〈第7時〉生徒の発話例

This is J.Y Park. He is from Seoul. He can speak Korean, English and Japanese. He produces a lot of Korean idol groups. He produces "NiziU" and "Twice". He is a great producer. They like J.Y.Park because he's kind. They are very famous in Japan and Korea. Many people like Twice.

◆必要な情報を読み取る。

〈第4時〉【紹介文+対話文 教科書2ページ】

・教科書 story3の本文を読み、場面を読み取る。  
 ・教科書の Dian Kichijitsuさんの紹介文と彼女に関するメグと海斗の対話文から、Dian Kichijitsuさんを紹介するための必要な情報を読み取って伝え合う活動。

〈第3時〉【馴染みのない外国人に関する紹介文 13文程度】

・海外で活躍する日本人(スポーツ選手)の紹介文を読み、自分が読んだ日本人がどのように海外で活躍しているか伝え合う活動。  
 ・教科書の Euan Craigさんなど、日本で活躍する外国人の紹介文を読み、日本で働きたい外国人に対して自分が読んだ外国人がどのように日本で活躍しているか伝え合う活動。

〈第2時〉【表+自己紹介文8文程度】

・四万十市に来る新しいALTに関する英文(履歴書)を読み、自分が来てもらいたいと思ったALTをAlessandroにプレゼン(紹介)するために、履歴書から必要な情報を読み取る活動。

〈第4時〉 生徒の発話例

This is Dian Kichijitsu. She is a rakugo performer. She is from the U.K. She lives in Japan and performs in many places. Do you know her? She usually speaks English, but sometimes, she speaks Japanese.

〈第1時〉【スケジュール形式 1つの提案につき6~8文】

・English Campに関するパンフレットから自分に必要な情報を読み取る活動。

評価規準

第1次

- 【知】人称代名詞の目的格の意味や、それを用いた文の構造を理解している。
- 【技】人称代名詞の目的格の意味や働きを理解を基に、イベントについて書かれた内容を読み取る技能を身に付けている。

第2次

- 【知】人称代名詞の目的格の意味や、それを用いた文の構造を理解している。
- 【技】人称代名詞の目的格の意味や働きを理解を基に、様々な人物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。

第3次・パフォーマンステスト

- 【知・技】人称代名詞の目的格の意味や働きの理解を基に、ゲストについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。
- 【思】決められた時間の中でゲストを紹介するために、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取っている。
- 【主】決められた時間の中でゲストを紹介するために、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取ろうとしている。

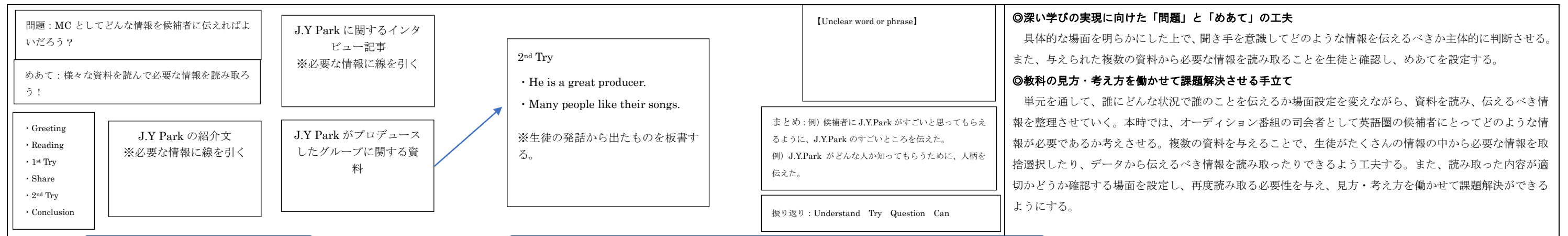
\*疑問詞(whose, which)の【知・技】については定期テストの中で見取る。

働かせている生徒の姿

●複数の情報の中から自分のニーズに合った情報を選び取っている姿。

●相手に紹介する人物について知ってもらうために情報を取捨選択しながら読み取っている姿。

●聞き手の置かれた状況を理解し、その人たちにどんな情報を伝えればよいかを考え、必要な情報を自分で判断し読み取っている姿。



問題・めあての共有	思考を深めさせる活動（個人→ペア→全体）	まとめ・振り返り	
<p>①本時の場面・状況を確認する。  <b>T: Look at this picture. Do you know him?</b> (J.Y. Park の写真を見せる)  <b>S: J.Y. Park</b>  <b>T: That's right. He wants to produce a new idol group now. Today he will be on an audition TV program and many girls in America will join the audition. So, you will be an MC and you will introduce him to them on the show.</b>            場面: J.Y. Park が新しくプロデュースするアイドルグループのオーディション番組の司会。アメリカの候補者へ向けて J.Y. Park の紹介をする。            ※PP を活用して生徒が場面・状況を理解しやすくする。</p> <p>②問題の確認  <b>T: Ok. Let's try rehearsall! Please introduce J.Y.Park as an MC</b>  <b>S: できません。</b>  <b>T: Why?</b>  <b>S: J.Y.Park がどんな人か知らない。</b>  <b>S: 情報がない。</b>  <b>T: Ok. What information do you need?</b>            問題: MC としてどんな情報を候補者に伝えればよいただろう?  <b>S: (生徒からの様々な意見: 例 出身地、性格、年齢など)</b></p> <p>③めあての共有  <b>T: So, what do you want to read about him?</b>  <b>S: (生徒からの様々な意見: 例 紹介文、プロフィール)</b>  <b>T: Ok. I have some information about him. Today you have many information like this. (プリントを配りながら) What is the difference?</b>  <b>S: グラフとかがある。</b>  <b>T: Yes. So, today's goal is...</b>            めあて: 様々な資料を読んで必要な情報を読み取ろう!</p>	<p>ALT (ディレクター役)  <b>Hello. I'm a director of this show, Kim. Today, your role is very important. These are some information about J.Y. Park. You have a lot of information, but you can use 45 seconds. I know you are good MC. So I believe you.</b></p> <p>④英文を読みながら資料にメモしたり線を引いたりする。(7分)  <b>T: I'll give you 7 minutes. Read and take some memos.</b></p> <div data-bbox="854 869 1460 1045" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈資料〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J.Y. Park についての紹介文</li> <li>・ J.Y. Park がプロデュースしたグループに関する資料</li> <li>・ J.Y. Park に関するインタビュー記事</li> </ul> </div> <p>※ALT は、生徒が表現や単語の意味がつかめず活動できていないときに、別の表現で言い換えるなどして生徒を助ける。</p> <p>⑤ペアで伝え合う。(リハーサルという設定で 45 秒)  <b>T: Now let's introduce J.Y. Park to your partner as an MC. You have 45 seconds.</b></p> <div data-bbox="854 1297 1460 1507" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈生徒の発話例〉</p> <p>This is J.Y. Park. His real name is Park Jin-Young. His birthday is December 13<sup>th</sup>. He is from Seoul. He is 49. He likes basketball and rice cakes. He produces "NiziU" and "Twice". He can speak Korean, English and Japanese.</p> </div> <p>⑥全体でシェア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表者の発表を聞き、その発表のために用いた情報をシェアする。</li> </ul> <p>※黒板に貼る資料にアンダーラインを引きながら、生徒が読み取った情報が資料のどの部分なのか全体に見えるようにする。</p>	<p>⑦ディレクターからの指摘を聞き、内容を確認する。(中間指導)  <b>ALT (ディレクター役)</b>  <b>: You made a great performance. But it's not perfect. Do they need his birthday? Do they need his favorite food?</b>            ※中間指導の視点: 選んだ情報が状況に適しているかどうか。  <b>T: What did he say?</b>  <b>S: 誕生日とか好きな食べ物とかいるのって言っていた。</b>  <b>T: That's right. Go back to today's goal.</b>            今日はオーディションを受ける候補者にとって必要な情報を読み取らないといけないよね。じゃあ、MC として候補者に伝えるべき情報ってどんなことだと思う?  <b>S: どんな人か、すごいところ。</b>  <b>T: That's right. So, let's read them again.</b>            ※読み直すときの視点を明確にする。</p> <p>⑧個人でメモした情報が適切かどうか振り返りながら再度資料を読む。</p> <p>⑨ペアを変えて伝え合う。(本番 4 5 秒)</p> <div data-bbox="1507 1241 2119 1633" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈生徒の発話例〉</p> <p>This is J.Y. Park. He is from Seoul. He can speak Korean, English and Japanese. He produces a lot of Korean idol groups.</p> <p>He produces "NiziU" and "Twice". He is a great producer. They like J.Y.Park because he's kind. They are very famous in Japan and Korea. Many people like Twice.</p> </div>	<p>⑩まとめ、振り返り  <b>T: What information is on your memos? Why did you choose the information?</b>  <b>S: (口々に言う)</b>  <b>T: Please write the reasons on your notebook.</b>            まとめ: なぜその情報を選んだのか、理由とともにまとめる。            例) 候補者に J.Y.Park がすごいと思ってもらえるように、J.Y.Park のすごいところを伝えた。            例) J.Y.Park がどんな人か知ってもらうために、人柄を伝えた。</p> <p>⑪伝えたことをノートに書く。  <b>T: OK, now you can make your script. Let's write.</b></p>
<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的・場面・状況をキーワードやイラスト、写真などの視覚支援を入れながら把握させる。</li> </ul>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3つの資料から必要な情報を読み取らせるために、必要だと思う情報に線を引いたりデータに印をつけたり、メモを活用させたりする。</li> <li>・ 中間指導において、複数の資料から読み取った情報を関連付けながら紹介している生徒を取り上げて、シェアする。</li> <li>・ 表現の適切さよりも、生徒が引用した情報の適切さに焦点を置いて中間指導を行う。</li> </ul>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なぜその情報を選んだのか、理由とともに具体的にまとめさせる。</li> </ul>	
<p>評価規準</p>	<p>【知・技】人称代名詞の目的格の意味や働きの理解を基に、ゲストについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。  <b>【思】</b> 決められた時間の中でゲストを紹介するために、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取っている。  <b>【主】</b> 決められた時間の中でゲストを紹介するために、聞き手の状況に合わせて必要な情報を読み取ろうとしている。</p>		